



54 (水口町貴生川) 小澤 直人さん

日々の練習を積み重ね 好記録で全国大会へ

8月に奈良市で開催された全国中学校総合体育大会に出場された水口中学校陸上競技部3年生の小澤直人さん。小澤さんは、トラック競技の1500メートル、3000メートルの種目で出場条件記録を大きく上回る好タイムで通信陸上、県大会、近畿大会を勝ち進み、全国大会への切符を手に入れました。小学校のマラソン大会では何度も1位だった小澤さん。その頃お兄さんが陸上競技をやられていたこともあって地元のスポーツクラブに入団され本格的に陸上競技を始められました。

初めは100メートルなどの短距離種目もやっていましたが、中学生になってから現在の中距離種目に転向。毎日2時間の練習を積み重ね記録を延ばし続けてこられました。日々の練習は大変厳しいと語る小澤さん。走り込みの時期は400メートルを10本も走るそうです。好きな練習メニューはと尋ねると迷わず出てきたのは「フリージョグ」。これは、タイムを出すための練習ではなく、自分のペースで走ることができる練習だそうで、気楽に走れる時が練習の中で一番楽しいとのこと。今後の進路について伺うと「陸上競技を続けたいので、陸上部がある学校に進みたいと思っています。」

この夏以降も駅伝大会など、大きな大会が残っており、まだまだ中学生としての競技が続く小澤さん。彼の今後の活躍に期待します。

▲大会に向け練習を重ねる小澤さん



アメリカデウィット市中学生が来市

市と姉妹都市のアメリカ合衆国ミネソタ州デウィット市から中学生8名が甲賀市を訪れ、7月29日から8月5日まで滞在、日本の文化や生活を体験されました。滞在期間中は、ホストファミリーの皆さんと過ごしながら、市内中学生との交流や、書道、うちわ作りなどを体験、日本の文化を満喫されました。今回ホストファミリーを務めた中学生は、今年1月にデウィットを訪れた生徒で、相互交流となった今回はお互いの再会を喜びあい、楽しくにぎやかな滞在となりました。



◀書道を体験する生徒

日本の文化を満喫

全国の強豪校が集結、レベルアップ図る

全国の高校、大学のサッカー一部が集まり、試合を通して技術の向上を図る水口サマーサッカー研修大会が、8月14～17日に行われました。



▲水口高校対報徳学園の一戦

同大会は、鹿深サッカー協会の主催で、今年で36回目を迎えます。今年も水口スポーツの森など8会場で50チームにより市長杯、協会長杯が争われました。

選手は、猛暑の中全力でプレーし、パスや守備の連係など細かい部分を確認していました。

また、15日には、開会式が行われ、各校の交流や情報交換が行われました。式典には中嶋市長も出席、「各チームが技を競い合い、相手の良さを学ぶとともに己の技を磨き、チームプレーに徹し、この経験を生かした活躍をされることを期待します。」と挨拶しました。

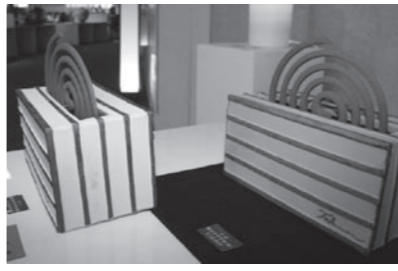


◀中嶋市長より記念品の贈呈



元気なまちかど

「いまどき、しがらき、かやりき」展



節電が求められる今年の夏。エアコンの使用を控え窓をあける機会が増えたこの夏は、電気を使わない蚊取り線香が見直されています。最近では、その機能だけでなく、夏を演出するインテリアとして人気があります。今年も陶芸の森信楽産業展示館で、「いまどき、しがらき、かやりき展」が開催され、信楽焼のアイデアを凝らした様々な蚊遣り器が展示されています。会場には、かき氷の形をした夏らしい涼しい涼しいものや、洋室にも似合うモダンな直方体のものなど、従来のイメージではない蚊遣り器が多数展示されています。また、蚊取り線香の生産工程や、蚊の生態について紹介したパネルも同時に展示されており、鑑賞だけでなく学べる展示にもなっています。節電、環境にやさしい生活の提案としての同展は9月25日まで開催されています。

個性的な蚊遣り器が集合

土山図書館 夏休みマジックショー

土山図書館で8月6日、小学3年生以下を対象にしたマジック(手品)ショーが開催され、訪れた親子連れおよそ50名が観覧しました。この日マジックを披露されたのは、京都ほほえみマジック所属の伊藤泰次さん。伊藤さんは、レコード盤を虹色に変えたり、お札が消えるなどの手品を披露。成功するたびに拍手と歓声がおこりました。またこの日は、子どもたちにもできる簡単手品として「お箸で知恵の輪」を伊藤さんが伝授。参加した親子は早速お互いに覚えてたてての手品のやり方を確認していました。



▲マジックに見入る子どもたち

何が出るかな...

科学実験を楽しむ子どもたち

甲南公民館「夏のこども体験講座」

7月29日、甲南公民館で小学生の子どもたちを対象に「夏のこども体験講座」が開催されました。



▲科学実験をたのしむ子どもたち

この講座は、甲南高校の森田先生と生徒の皆さんが講師となり、子どもたちに科学実験の楽しさを知ってもらおうと企画されました。

参加した子どもたちは食物繊維を使つての「つぶふわインテリアづくり」に挑戦。

高校生先生に教わりながら、オレンジ、グリーン、ピンクなどの色の溶液を、家庭用除湿剤を溶かして作った液にスポイトで落として、カラフルな粒をたくさんつくっていきました。

出来上がった粒は空のペットボトルに入れて、部屋の飾りとして持ち帰りました。

普段、学校では体験できない高校生のお兄さんお姉さんたちとのふれあい学習は、子どもたちにとって忘れられない夏の思い出になったようです。